

当院におけるオランザピンと六君子湯の食欲増進効果について検討する後ろ向き観察研究

・はじめに

食欲不振は高齢になると多くの方にみられます。当院でも NST(栄養サポートチーム)介入依頼のある患者さんの多くは、食欲不振による食事摂取量の低下とそれに伴う栄養不良を抱えています。オランザピン(第二世代向精神薬)には食欲増進効果があることが知られており、当院でも食欲不振の患者に対して処方されていますが、既往に糖尿病のある患者さんには禁忌であり、原則処方できません。いくつかの論文から、六君子湯にも食欲増進効果があり、第二世代抗精神病薬にみられる副作用症状が少ないことが知られていますが、実際にこの2剤の効果を比較した文献はありません。

今回、当院の NST 介入患者さんのうち、オランザピンが処方された方と六君子湯が処方された方の食欲増進効果、体重の増加量、そのほか有効性や安全性について比較、検討することで、今後の食欲不振患者に対する治療の最適化に貢献したいと考えました。

・対象となる患者さん

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日までの 1 年間に NST が介入した入院患者さんで、オランザピン、もしくは六君子湯が処方された方の臨床情報が対象となります。対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡ください。

・研究内容

カルテより下記の診療情報を収集します。

- ① 臨床所見 (年齢, 性別, 主病名)
- ② 身体所見 (処方後の食事摂取量, 体重変化量, 有害事象など)
- ③ 使用薬剤、既往歴 など

この研究を行うことで患者さんに余分な負担が生じることはありません。

・個人情報の管理について

収集されたデータは、匿名化して患者さんの個人情報が外部に漏れることがないように十分注意して管理いたします。プライバシーの保護に細心の注意を払いますので、あなたの個人情報が公表されることもありません。個人を特定できる氏名、住所、電話番号等は収集しません。またこれらの試料等を利用した医学研究によって得られた成果等が、学術集会や科学専門誌で発表される場合でも個人が特定されることはありません。

・研究期間

院長の研究実施に関する決定通知発行後 2019 年 3 月 31 日まで

・医学上の貢献

実臨床におけるオランザピン、六君子湯の有効性や安全性を調査し、それぞれの適応について考察することで、薬剤の適正使用に貢献できると考えます。

・研究機関

研究責任者：千葉医療センターNST 薬剤師 宮森 彩香

共同研究者：千葉医療センター 薬剤師 加藤 一郎

千葉医療センター NST 外科 医師 森嶋 友一

千葉医療センター NST 外科 医師 豊田 康義

千葉医療センター NST 栄養科 管理栄養士 阿部 宏美

千葉医療センターNST 薬剤師 柳澤 京子

連絡先

〒260-8606

千葉県千葉市中央区椿森 4-1-2

043-251-5311 内線：2981

担当 千葉医療センター 薬剤部 宮森 彩香